

令和 2 年度 稲沢市地域自立支援協議会 第 3 回就労支援部会 議事要旨

[日 時] 令和 3 年 1 月 19 日 (火) 午後 2 時～午後 3 時 15 分

[場 所] 稲沢市役所 第 1 分庁舎 2 階 第 2 会議室

[出席者] 就労支援部会委員 7 人、事務局 3 人

[欠席者] 就労支援部会委員 1 人

[議 事]

1 協議事項

(1)企業への啓発活動等について

- ・企業への啓発チラシ素案について（事務局より説明）
- 「障害者雇用とは」という内容であれば、ハローワークだけでなく愛知労働局、厚生労働省でもわかるようになっている。
- 特別支援学校の部分も「特別支援学校とは」という内容になっているので、一般的な意味でいくと、近隣に一宮特別支援学校や一宮聾学校もあるので紹介してはどうか。愛知県や県の教育委員会のHPにも、特別支援学校について説明がある。
- ハローワークも特別支援学校も、それぞれのトップにつながっても本来の目的からするとたどり着くまで遠い気がする。HPというより関連ページにリンクすることが必要かなと思う。どこが良いという意見を聞いてもらっても良い。特別支援学校にどういう生徒が通っているの深く知りたいということになると今の 3 校が一目できるページにリンクすることが理想かなと思う。
- 厚生労働省で障害者を検索すると検索ワードで「障害者雇用」を入れたほうが良いと思うが、色んなことが載っている。今は URL より言葉で検索する方が多い。何の項目なのか、細かいところがあれば良いと思う。
- もしかしたら障害者職業センターのページに繋がったほうが良いのではないかな。障害者雇用といっても幅広いのでここだけは押さえてほしい、という内容を協議しないといけないかなと思う。自分たちでスマホを触りながらしていかないと話が進まない。作業部会のようなものは必要かなと思う。次年度に引き継いでいくということかと思う。
- チラシは長期間で使うイメージなら正式にする前に議論が必要だと思う。商工会議所の会報誌に 1 回分を挟むということなら今年度は事務局で適当なものを選んでいただければ良いと思う。
- 本日の意見を確認して事務局で調整し、個別に意見も聞きながら、部会委員の方にはメール等で連絡させていただいて進めていきたい。
- 就労継続支援事業所の部分についてはどうか。
- 移行支援事業所についても記載していただけると良い。
- 継続支援事業所に入れると、「仕事をお手伝いできる」というところが合わなくなる。
- 違う枠でも良いが、あったほうが良いと思う。

- 別の項目を作成するか。
- チラシの上を書いてあるような、人手不足の相談は移行支援事業所が対応できる。違う枠でも良いと思う。
- 違う枠を作成するか。
- 障害者を雇用するという意味に含まれる。
- 雇用に関しては、あらゆる機関が周知しているので、稲沢市ならではの、地域密着でない
と情報として価値がないと思う。意味が薄れていくのではないかと思う。今年度コロナ
で見学会ができなかったのも、これに代わるものとしてチラシで企業へPRしたいと
いうことになっている。私の認識ではいなざわ特別支援学校は市内にあるし、将来生徒
達が社会で働くために必要なことが、特別支援学校の中でも重点的に教育されている
と思っていたがどうか。そうであれば、いなざわ特別支援学校をリンク先にするのは良
いことではないか。
- 開校当時、本校は県から特別に指定がされていたが、今は県内全校に職業コースが設置
されている。今までは学年の能力が高い子を選んで上を目指していたが、もう少しで就
労できそうだという子に重点を置き、職業コースに入れていこうという動きがある。本
校のHPになると上の説明は知的障害が対象ということを入れないと合わなくなる。
- 企業を訪問する中で、知的障害というと、「手先が器用で能力が高い子がいい」「パソコ
ンが使える子がいい」という意見があったりするので 3 校を挙げさせていただいた。
市で見学会をし、市の特色として取り上げていただくのであれば、上の文言を考えてい
ただき、学校でも決裁していきたいと思う。
- これは検討ということでしょうか。
- 見学会の成果については、知っていただきたいことなので、載せていきたい。
- 4については事例報告になる。市のHPに作りたい。コードを読むと直接そのページに
リンクできるようにしたいと考えている。ページ案は別紙のとおり、内容は 7 月の部
会の資料を参考に作成している。レイアウトはこれから検討していく。1 つ目の事例は
企業とつながり企業から福祉事業所へ仕事の発注がされたもの。2 つ目の事例は企業と
福祉事業所間で施設外就労の契約になり、工賃向上につながったもの。
- 内容を吟味して作成していきたい。

(2)その他

- コロナの影響により、障害者の雇用が切られたという状況は把握しているか。
- ハローワークとして特に障害者を個別に切ったという事案は挙がっていない。届け出
される事業所はそれなりに知識がある。零細企業さんになると、届け出も知らない企業
もあるためそういった企業ではあるかもしれない。障害者の雇用状況として 2.2 の規定
があり 45.5 人以上の企業には報告義務がある。管内で稲沢市は平和町を除くが、314
社、そのうち達成は 153、未達は 161 社、このうち、まったく雇用が 0 人という企業

が 92 社ある。この 0 人企業へ訪問しているが、これらはかなり抵抗がある。任せられる仕事がないとはっきり言われるところある。そういうところばかりではないが、身内などに障害者がいるところは寛大であるような気がしている。未達が大きいと行政指導になる。今年度も何社が対象になりかけて、解消したが、現実的に障害者は定着も難しいかなと思っている企業もある。雇っても、そのあと定着することが難しい。支援機関の支援もあるが、定着がダメだったりするとその後かなり抵抗が大きくなってしまう。企業によっては、身体障害者が希望で、精神障害や知的障害は取りたくないと言うところがある。軽度の身体障害者は大手企業に採用される。どうしても精神や知的は採用が難しい部分もある。雇用率も現状 2.2 だが、3 月 1 日から 2.3 に上がる。下がることはない。雇用も共に生きるということで進める必要があると思う。

○特別支援学校の高等部 3 年生は 49 人いる。ほぼ卒業後の進路先が決まってきた。一般就労は 11 名おり、9 名は内定済。残り 2 人も決まる見込み。夏頃に実習が延期になった企業があったが、秋に再開し内定につながった。実習時期が延期となったことはあったが、コロナが原因で内定取り消し等はなかった。2 年生は 39 名、7 人が企業で実習予定。来週から始まるが、緊急事態宣言が出て延期になった企業が 1 つある。福祉事業所も延期になったところがある。毎年 2 割程度は一般就労する。コロナの影響は受けていないと考える。年末に県内の学校の進路指導者で話をしたが、コロナが直接的な要因となってダメになった子はほぼいない。実習が延期になったことはある。2 年生や 1 年生がこれから影響を受ける可能性はあると思う。

○就労移行から就職された方で、雇用を切られたという話はない。実習など決まっていたものが延期になったという企業が何社かあったがそれ以外はない。

○先の見通しが立たないというのは障害者にとって不安要素だと思う。コロナの見通しはわからないが情報は集めていきたい。

2 その他【就労支援機関マップについて】

○前回の部会では、今後必要となるデザイン料について、福祉事業所で案分していく案が出ていたが、一宮市の就労支援部会で、広告料をとっていく方向性となった。裏面の 4 分の 1 のスペースを使い、4 事業所分の広告を掲載する。1 広告は 2 万円となる。このマップを作製することでメリットになる事業所へ声をかけていく必要があるということで、一宮市では就労支援部会に参加する福祉事業所を対象に声掛けをし、3 事業所の候補がある。稲沢市では 1 枠分の広告を募集していく案が出ている。就労支援部会に福祉事業所として参加している事業所へ掲載について検討をお願いしたい。

○前向きに検討したい。